



平成29年度 山梨県立吉田高等学校

やらまいか

～自分が思う以上に自分の可能性は大きい～

平成29年7月5日（水）発行

4月の入学以来、早3ヶ月が過ぎ、吉田高校1年の1/4が過ぎ去りました。生徒達は、日々わずかずつではありますが、中学生から高校生へと成長しています。しかし、まだ意識や行動、学習やクラブ活動、諸行事への取り組みが、私をはじめとする1学年職員の要求する水準に達していないのも事実です。過ぎ去った時間は取り戻すことはできませんが、残りの3/4に向かって有効に使うことはできます。これから過ごす9ヶ月で、生徒各自が、よりよく成長するように、1学年職員は全力で生徒をサポートしていきますので、保護者の皆様にも協力をお願いしたいと思います。

■ 4月からの学年集会で生徒に伝えてきたこと

①ノミの話（目標を掲げ安易に下げるな！）

小さなノミは自分の体の何十倍もの高さを飛び跳ねることができるそうです。ここでノミが跳ねた時に当たってしまう高さに天井を作ります。するとノミは高く飛んでもしょうがないと思うのか、天井に当たらない高さまで跳躍力を落とすそうです。そして次に天井を少し高くします。しかし以前のような本来の高さまで飛び跳ねる事ができないそうです。

ノミ（自分）天井（目標）と考えてみて下さい。高すぎてもたどり着くのに時間がかかり嫌になる。低すぎると必要以上に頑張らなくなり自身の成長が止まってします。目標を設定することは1年生に限らず大切ですが、特に1年生は具体的に目標を作りそこを目指すことにより3年間の充実度は違います。まずは小さな目標（頑張れば届きそう）を大切にしてください。**【人生一度！家でゴロゴロなんてもったいない！】**（ちなみにあと少しで届きそうな天井の場合はどうなるのか考えてみると面白いです。）

②280人280色（みんな違ってみんないい！他者から学べ！！）

もし自分が色で表現できたとしたらどのような色でしょうか？そしてあなたの身近にいる親しい友人は何色でしょうか？もしかしたら自分と似ている色かもしれません。では逆に話が少し合わないような、少し距離を置いてしまいがちな友人はどうでしょうか？もしかしたら自分とは、かなり異なった色として映っているのではないのでしょうか？ここで質問です。4色しかない絵の具と40色ある絵の具では、どちらの方が表現豊かな絵となるのでしょうか？ましてや280色ある絵の具だったら、どのくらい繊細な絵が描けるのでしょうか？**『みんな違ってみんないい』『みんな違うからみんないい』**ではないのでしょうか。学園祭をきっかけに、人と積極的に交流をもち、自分にない考え方を持っている仲間を受け入れて、自分の成長にして欲しいと願います。

③今からの時代に必要な力（先を想像して育成を）

研修に行った際、経済界の方がこのような話をされていました。『今の高校生が35歳ぐらいになった時、今ある職業でないものがたくさんあり、今現在無い職業が現れると予想される。その時企業が生き残るためには【コミュニケーション力】【工夫力】【忍耐力】が今以上に必要』だそうです。そのような状況をふまえ大学受験も、学校現場も大きく変わろうとしています。『発信力』『創造力』『想像力』など様々な力を涵養し、『自己肯定力』を高め、最終的には**『自主的に考え信念を持って行動する』**が1つの到達点と考え、当然この学年の重要な教育目標に位置づけています。しかしこれにはご家庭の協力も必要となります。ぜひ『自主的に考え信念を持って行動する』が育つよう力を合わせていきましょう。

④学園祭で大切にしたいこと（状況を読む訓練を！）

上に書いたこと以外にもう1つ大切にしたいことを挙げたいと思います。

議論が必要な場面においては、『発言者』『聞き手』『司会者』などいろいろな役に分かれる事が多いと思います。しかもそれは場面毎に変わっていく傾向があります。どのような場面においても【自分の立ち位置（役）】を常に意識することが大切だと考えます。そしてもう1つ大切なことは【聞き手の他者を重んじる姿勢】が欠かせないということです。【自分が絶対】という姿勢では議論にはなりません。お互い意見を聴き合う姿勢から物事の【創造】は始まるのではないのでしょうか。そして他者への理解は他者の立場に立つ【想像力】が必要ではないのでしょうか。

■6月12日から12名の教育実習生が指導にあたりました。学年集会で高校時代どのように文理の選択を考えたのかなどを話してもらい、1年生にとっては大変参考になる話であったと思います。時間の関係上そこでは話せなかった内容を聞きましたので書かせていただきます。

●私は正直中学3年から英語がさっぱり分かりませんでした。そんな私も無事に大学に合格できたのは1年生の夏に中学校の英語をもう一度やり直した事です。つまりいたところからもう一度焦らず戻るとは、重要ですし勇気が必要です。みんな焦らずにやрмаいか！

●私の一番の後悔は、一年生の過ごし方・・・私はいわゆる「暗記型」この勉強方法は全く通用しない。しかもこの勉強法の一番ダメな事は、実は【必要以上の事は絶対にやらない】という気持ちになってしまう事です。やっぱり「思考力」です！しかも考える事で【必要最低限度でいい】が無いということです。どうせなら力がついた方が良いに決まっている。ぜひやрмаいか

●私は小テストや課題の取り組みが甘く、基礎が固まらないまま時間が過ぎてしまいました。授業も小テストも課題も部活も頑張るためには、まず「生活リズムを固定させる」ことです。習慣になってしまえば体の負担もぐんと減るので、部活との両立を目指すことができます。また生活を整えると授業の集中力も全然違います。まずは生活改善からやрмаいか

●1年生の頃は部活もあったので、誇れるほどの勉強時間ではありませんでした。だからこそ「計画的に学習」しました。どんなに忙しくても課題と小テストの勉強は手を抜かず、毎日かかさず力をいれてやりました。この取り組みは受験勉強の際に大きな力になりました。また受験が終わって分かったことは、学校のペースについて行けば受験は大丈夫ということです。学校の授業を信じ、それを中心に組み立ててみましょう。やрмаいか

■この夏のポイント（基礎基本に力を注ぐ・苦手科目をなくしオールマイティーに）
1年の夏季休業は「苦手意識の克服」「4月からの復習」の絶好のチャンスです。計画的に取り組みましょう。

★最後になりますが、生徒に一言『自分を大切にしてほしい』です。他者にとってあなたは必要な存在です（気づかないだけ）。支えになるときもあり、涙するときもあり、笑顔になるときもあります。いろいろありますが必要なんです。【命＝人生】をぜひ大切に温めてください。

■文理選択の日程・・・休業中にご家庭での話し合いをお願いします。

8月 第1回文理希望調査用紙配布

9/25 生徒進路学習会

第2回進路希望調査&コース登録予備用紙の配布⇒10/15提出

9/27 大学見学会

10/4 来年度履修登録、コース、単位数の説明

12月 「本登録用紙」配布・提出

8月行事予定

8月の行事予定です。日々の予定の確認をお願いします。

日	曜	行 事
6	日	理数科宿泊学習会（～11日）
7	月	普通科登校学習会（～10日）
17	木	夏期課外（～22日）
19	土	オープンキャンパス（中学生対象）
23	水	大掃除、納め式、合同LHR, LHR,
26	土	全統高1模試

